

新国立劇場 2015／2016 シーズン ダンス公演

高谷史郎(ダムタイプ)
「CHROMA(クロマ)」

2016年5月21日(土)14:00、22日(日)14:00

新国立劇場 中劇場



photo: FUKUNAGA Kazuo

写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ

◎新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 中尾久美子

TEL:03-5352-5735 / FAX:03-5352-5709

特設サイトあり

作品について

2

【概要】

高谷史郎がディレクションする『CHROMA』は、英國の映画監督デレク・ジャーマンが死の直前に著した「色彩についての自伝的エッセイ「クロマ」」を原点とした作品で、国内外で高い評価を得ました。音楽はジャーマンの映画音楽を多数手掛けたサイモン・フィッシュナー・ターナー。ダンサー、ミュージシャン、プログラマー、映像クリエイターらが創りだす繊細で精緻、幻想的な舞台空間が新国立劇場に出現します。視覚そのものが瞬間に衝撃をうけるようなステージにぜひご期待ください。

【作品案内】

2000年代はじめ、TAKATANI SHIROの出現でサイエンスとアートの境界線が消え始めた。

—『CHROMA』色彩を巡る旅はどこへたどり着くのか？—

海外でも高い評価

「CHROMA（クロマ）」とは「色彩」（色相と彩度を合わせた色の性質）のことである。

高谷史郎が総合ディレクションする『CHROMA』は2012年びわ湖ホールで日本初演、13年フランスの「マルセイユ・フェスティバル」でヨーロッパ初演され、国内外で高い評価を得た作品だ。

なぜ私たちはアートとサイエンスを別の言葉で呼んでいたのだろう？

ダンサー、ミュージシャン、プログラマー、映像クリエーターらが創りだす繊細で精緻、幻想的な舞台は抗いがたい魅力にあふれている。舞台は身体表現とデジタルアートが見事に、完璧なまでに融合し、異次元空間となる。「アートとサイエンスは同じものの表と裏のようなものだ（高谷史郎）」という。

作品の原点は英國映画監督デレク・ジャーマンの色彩に関するエッセイ

当作品はイギリスの映画監督デレク・ジャーマンの色彩についての自伝的エッセイ「クロマ」を原点としている。ジャーマンは生涯、色にこだわり、その完璧な表現を見つけるために全身全霊を捧げた。病気のため視力を失いながら書かれた遺作となるこのエッセイは、色彩に対する考察に満ちあふれている。当公演の音楽は「カラヴァッジオ」「エドワードII」「BLUEブルー」などジャーマンの映画音楽を多数手掛けたイギリスのミュージシャンであり作曲家であるサイモン・フィッシュナー・ターナーである。

時間は遡る

『CHROMA』では時間は時計とは逆方向に進み、死から誕生へ一生を遡っていく。これは「時間の流れを逆方向に捉えて一生を遡ることで、デレク・ジャーマンの視力を回復させ、その痛みから救いたいという思いが込められており、『CHROMA』では 幼年期まで立ち戻りながら、世界の色を学び取っていくプロセスを構築する」のだという。

「死（からの開放）」（Unclose your eyes）から始まって、「誕生」（feedback）で終るこのパフォーマンスには、人生の時間を遡ることと同時に、「光」「色」に関係した様々な 考察に基づく事象が含まれている。

朗読とテキストの妙

また作品中では詩や逸話、様々な引用が散りばめられてる。アリストテレス（ギリシア語）、レオナルド・ダ・ヴィンチ（イタリア語）、ニュートン（英語）、ゲーテ（ドイツ語）、ヴィトゲンシュタイン（英語）たちの言葉がジャーマンのエッセイを通して再引用されている。

これらは「私的な考察と科学的見解が交錯するジャーマンのスタイルを自身の作品に踏襲し、ニュートン、アリストテレス、レオナルド・ダ・ヴィンチらの言を引用した（高谷史郎）」のだという。

色を全身で感じる衝撃的な経験

様々なトーンの色彩を巡る旅の末、たどり着くのは「美しい」としか言いようのない世界である。色は目で見るものではなく全身で感じるものであることを体験する旅である。この不思議で衝撃的な体験は劇場でしかできない極めて限定的な経験でもある。

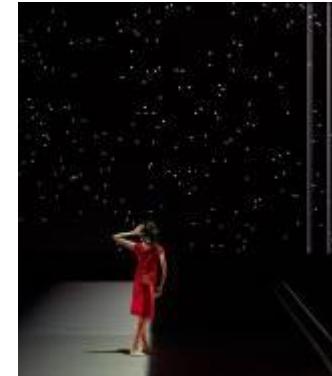


Photo: FUKUNAGA Kazuo

高谷史郎|TAKATANI Shiro



1963年生まれ。京都市立芸術大学環境デザイン科在学中の84年からアーティストグループ「ダムタイプ」のメンバーとしてパフォーマンスやインスタレーションの制作に携わり、ビジュアルワークを総合的に担当。主な個人の活動としては、1999年坂本龍一オペラ『LIFE』の映像ディレクション。2007年気候変動について考えるアーティストと科学者の北極圏遠征プロジェクトCape Farewell(イギリス)に参加。08年パフォーマンス『明るい部屋』をドイツのTheater der Weltで初演。12年パフォーマンス『CHROMA』(クロマ)をびわ湖ホールで初演。13年シャルジャ・ビエンナーレ(アラブ首長国連邦)。同年、東京都写真美術館での個展、『明るい部屋』が評価され、平成26年度文化庁芸術選奨(メディア芸術部門)文部科学大臣賞を受賞。また、坂本龍一、中谷英二子、樂吉左衛門、渡邊守章、オノセイゲン、野村萬斎等とのコラボレーションも多数。2016年最新作「ST/LL」をびわ湖ホールにて日本初演。

<スタッフ・キャスト>

総合ディレクション：高谷史郎

出演：薮内美佐子、平井優子、オリビエ・バルザリーニ、アルフレッド・バーンバウム

音楽：サイモン・フィッシャー・ターナー、原 摩利彦、南 琢也

照明：吉本有輝子

メディア・オーサリング：古館 健

コンセプチュアル・コラボレーション：泊 博雅

舞台監督：大鹿展明

映像技術：山田晋平

映像|音響：濱 哲史

映像|プログラミング・アシスタント：白木 良

「CHROMA (クロマ)」(初演：2012年 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール)

共同制作：ダムタイプオフィス、公益財団法人びわ湖ホール

助成：公益財団法人セゾン文化財団（国際プロジェクト支援 2011-2013）

公演概要

2016年5月21日（土）14:00 22日（日）14:00 新国立劇場 中劇場

チケット料金（税込）：A席 5,400円 B席 3,240円

チケット発売日：2016年4月9日（土）

◎チケットのお求め・お問い合わせは

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt>

◎チケット取扱い チケットぴあ、イープラス、CNプレイガイド、ローソンチケット ほか

* 当日学生割引（50%割引）<2席を除く> 残席がある場合のみ、公演当日ボックスオフィスとチケットぴあ一部店舗で販売。一人一枚。電話予約不可。要学生証。

* 新国立劇場では、高齢者割引（5%）、障害者割引（20%）、学生割引（5%）、ジュニア割引（中学生以下20%）など各種の割引サービスをご用意しています

イベント案内

◆アフタートーク（入場無料。ただし満席の場合制限あり）

- ・日時：5月21日[土]公演終了後 新国立劇場中劇場
- ・出演：高谷史郎（総合ディレクション）ほか
- ・司会：浅田彰（京都造形芸術大学大学院長）
- ・入場方法：本公演のチケットをご提示ください
- ・お問い合わせ：営業部 TEL 03-5351-3011（代）